

# 肝臓や膵臓の検査について

内視鏡やバリウムで検査する胃や腸以外の臓器は主にエコー(超音波)やCTスキャンでその形態を観察します。しかし、腹部には、肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、また、子宮、卵巣など婦人科の臓器もあり、複雑です。また、その臓器の役割も異なり、病気の種類、原因も一律ではありません。

ここでは、早期発見の画像検査に絞って説明します。

## 腹部エコー

超音波を用いて、腹部の色々な情報を得る検査です。全く苦痛が無く、また超音波は繰り返し検査してもX線検査の被曝のような害も無いことがメリットです。

肝臓ガン、胆石、腎結石、子宮筋腫など、お腹の中の様々な病気の発見に有用です。



稜北病院 横倉基医師



膵臓がん  
CTスキャン像



胆石  
エコー像

特にウイルス性慢性肝炎・肝硬変の患者さんは定期的に画像検査が必要です。

## 腹部CT

特殊なレントゲン装置により、体を輪切りにした画像が連続的に得られます。造影剤を使うことにより、情報量は飛躍的にたかまります。肝臓、膵臓、腎臓などの検査には欠かすことは出来ません。



巨大な  
肝臓がん  
CTスキャン像



胆石  
CTスキャン像